

# 高度情報社会の在り方を考察し市民としての関わり方を判断する小学校社会科授業

かみの  
神野 幸隆（広島大学附属三原小学校）

## 1 高度情報社会におけるキーとなる用語

【I.o.T】，【ビッグデータ】，【5G】，【A.I.】，【オープンデータ】，【データマイニング】，【ビッグデータの3大生成（ライフログデータ） ，（センシングデータ） ，（大規模システムログデータ）】，【オプトアウト権】

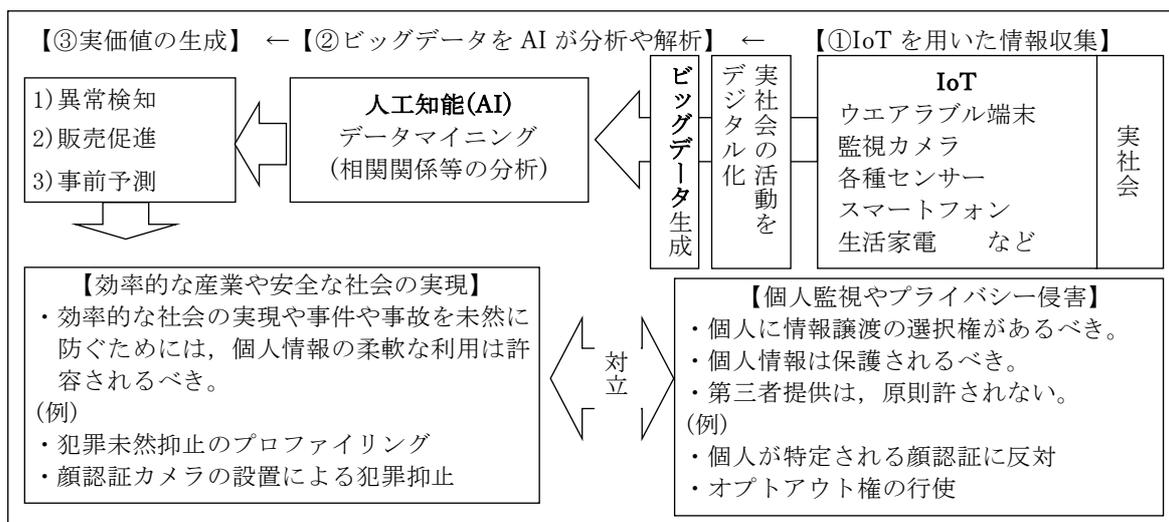


図1 IoTやAIを活用する高度情報社会の概要

## 2 従来の情報社会とビッグデータ社会の違い

- ① 大量な情報を全量集める社会へ。（標本調査から全量把握へ。）
- ② 質より量の転換へ。（量が集まれば、ともなって質（精度）も向上する。）
- ③ 因果関係から相関関係へ。（原因と結果ではなく、事象間の相関性）

## 3 高度情報社会における資質能力

- ① 「可視化」できるようになった「相関」から意味や役割を読解すること。
- ② 相関関係の正誤判断（そもそも、相関性があるのか、偶然の一致なのか）
- ③ オプトアウト権を行使するか否かの選択・判断（個人情報保護と権力側による個人監視。社会全体の幸福と個人の自由との兼ね合い）

## 4 授業実践例

- ① ビッグデータを活かす HONDA セーフティマップと埼玉県交通課
- ② 外国人動態調査を活用する広島県の観光